

研究所彙報

一 二〇一〇年度研究所・所員リスト

- 教授 浅野 富美枝（家族社会学・ジェンダー論）  
准教授 市野澤 潤 平（観光学・文化人類学）  
教授 今林 直樹（社会学・政治学）  
教授 井上 研一郎（近世美術史）  
教授 犬飼 公之（古代文学）  
准教授 岩川 亮（フランス語学・文学）  
教授 菊池 勇夫（日本近世史）  
教授 九里 順子（日本近代文学）  
教授 松浦 光和（心理学）  
教授 森 雅彦（西洋美術史）  
教授 J. F. モリス（日本文化論）  
教授 大平 聡（日本古代史）  
教授 新免 貢（宗教学）

- 准教授 杉井 信 (社会人類学)
- 教授 高田 紀代志 (科学史・科学論)
- 教授 田中 一裕 (生態学)
- 准教授 土屋 純 (地理学)
- 准教授 豊澤 弘伸 (国語教育)
- 教授 八木 祐子 (文化人類学)
- 准教授 割田 聖史 (西洋史)
- 准教授 吉村 典子 (西洋建築デザイン史)
- 客員 阿部 隆 (日本女子大学教授・人文地理学)
- 客員 一条 孝子 (元宮城学院女子大学職員)
- 客員 今高 義也 (宮城学院中学校・高等学校教諭・日本思想史)
- 客員 大石 泰夫 (盛岡大学教授・日本古代文学)
- 客員 大迫 章史 (仙台白百合女子大学人間学部人間発達学科助手・近代日本高等教育史・近代日本教育制度史・教育行政学)
- 客員 後藤 純子 (元大阪市立大学文学部助教・インド学・宗教学)
- 客員 佐々木 民夫 (岩手県立大学教授)
- 客員 妹尾 哲志 (同志社大学政策学部講師)

客員研究員 富永智津子（元宮城学院女子大学教授・東アフリカ・インド洋地域近現代史）  
客員研究員 中村忠生（兵庫県立西宮香風高等学校教諭）  
客員研究員 丸山仁（宮城学院中学校・高等学校教諭・日本中世史）  
客員研究員 山形孝夫（宮城学院女子大学名誉教授・宗教学人類学）  
客員研究員 吉田理（宮城学院中学校・高等学校教諭・アジア文化論―古代中国史）

## 二 共同研究について

本年度の共同研究のテーマは次の通りである。

「南島における民族と宗教」

「多民族社会における宗教と文化」

「キリスト教文化の受容と変容」

「家族文化の総合的研究」

共同研究の成果として、次の冊子が刊行された。

『沖繩研究ノート』20

二〇周年記念出版『沖繩研究―仙台から発信する沖繩学―』

『多民族社会における宗教と文化』No.14

三 二〇一〇年度研究所活動報告

公開シンポジウム

二〇一〇年五月八日(土) 午後一時より午後五時 (≪本学本館三階第二議室)

「アフリカ関係シンポジウム」

「ナイジェリア女性の命の重さ」

講師 戸田 真紀子 (京都女子大学現代社会学部)

「紛争後の国家再建と『元子ども兵士』の社会統合…シエラレオネの事例から」

講師 杉木 明子 (神戸学院大学法学部)

コメンテーター 富永 智津子 (キリスト教文化研究所客員研究員)

八木 祐子 (本学国際文化学科)

公開研究会

二〇一〇年六月三〇日(水) 午後四時四〇分より午後六時 (≪本学人文館五階大会議室)

「〈獲る〉海から〈見る〉海へ…タイ領アンダマン海におけるダイビング観光」

報告者 市野澤 潤 平 (本学国際文化学科)

公開研究会

二〇一〇年十一月一日 午後四時より午後六時 (≪本学人文館五階大会議室)

「出口の女子学生」

公開研究会

報告者 一条孝子（キリスト教文化研究所客員研究員）

二〇一一年三月十六日（水）午後二時より午後五時（Ⅱ本学講義館三階C三〇八教室）

犬飼所長最終講演

「古代日本と朝鮮、そして琉球―葬制（火葬、散骨）の展開」

報告者 犬飼公之（本学日本文学科）

〈南島における民族と宗教〉

公開研究会

二〇一〇年一〇月二日（土）午後一時より午後五時（Ⅱ本学本館三階第二議室）

「沖繩研究―仙台から発信する沖繩学―」

「大清時憲書における「琉球」

報告者 高田紀代志（本学国際文化学科）

「沖繩の近代はどのように描かれてきたのだろうか―琉球処分史研究を中心に」

報告者 割田聖史（本学人間文化学科）

「戦後沖繩の政治と政党」

報告者 今林直樹（本学国際文化学科）

「沖繩に戻れなかったフィリピン人たち

——一九五〇年代の米軍統治下沖繩における沖比国際結婚家族の歩み」

報告者 杉 井 信（本学国際文化学科）

「沖繩のクモたちの冬越し」

報告者 田 中 一 裕（本学一般教育科）

公開シンポジウム

二〇一〇年一〇月一六日（土）午後一時より午後五時二〇分（≪本学本館三階第二会議室）

二〇周年記念シンポジウム「見る、聞く、語る——沖繩の過去・現在・未来——」

第一部 沖繩を語る

「宮古島——思い出を語る——」

報告者 杉 浦 喜代子（本学日本文学科四年）

第二部 公開講演

「琉球の赤い王宮と白い王陵」

講 師 安 里 進（沖縄県立芸術大学教授）

『『おもろさうし』英雄列伝序説』

講 師 福 寛 美（法政大学沖繩文化研究所国内研究員）

「琉球処分と韓国併合」

講師 波平 恒男（琉球大学法文学部教授）

〈多民族社会における宗教と文化〉

公開研究会

二〇一〇年一〇月三〇日（土）午後二時より午後六時（Ⅱ本学講義館五階国際文化学科図書室）

「結婚前後の女性の学歴形成―現代バンングラデシュ農村の社会変容を背景に―」

報告者 南出 和余（桃山学院大学国際教養学部）

「インド都市社会におけるストリートチルドレンの「自己決定」に関する考察」

報告者 針塚 瑞樹（筑紫女学園大学非常勤講師）

四 所員消息（二〇〇九年四月―二〇一〇年三月）

浅野 富美枝 教授

著書 服藤早苗・浅野富美枝他『歴史のなかの家族と結婚』（森話社、二〇一一年三月）

その他「二〇〇九年労働年表 社会文化欄」法政大学、大原社会問題研究所編『日本労働年鑑二〇一〇年版』

（旬報社、二〇一〇年一〇月）所収

講演「働きがいのある仕事とワーク・ライフ・バランス」宮城県自治労女性部（二〇一〇年二月五日）

講演「婦人会館のこれまでとこれから」宮城県婦人会館移転記念シンポジウム（二〇一〇年三月一三日）

講演「なぜ進まない、男女共同参画のあゆみ」仙台市男女共同参画フォーラム（二〇一〇年十一月一日）  
他

市野澤 潤 平 准教授

論文「〈獲る〉海から〈見る〉海へ…ワイルドライフ・ツーリズムによるリーフの観光資源化」〔年報タイ研究〕

第一〇号、日本タイ学会、二〇一〇年七月）

論文「プーケット復興委員会の熱い夏…インド洋津波後のプーケット在住日本人の経験におけるリスクと孤独」

〔地域研究〕第一一―二号、二〇一一年三月予定）

学会報告「人類学的リスク研究の可能性…分科会イントロダクション」立教大学、日本文化人類学会第四四回研

究大会（二〇一〇年六月―二日）

学会報告「観光産業と風評災害…スマトラ沖地震・津波後のプーケット在住日本人社会における不確実性とリ

スク」東洋大学、東南アジア学会第八四回研究大会（二〇一〇年十二月五日）

海外実地調査「タイにおける複ゲーム状況に関する人類学的調査」（タイ、バンコク・パタヤ・南部海域、二〇

一〇年八月―七日～九月二日）

海外実地調査「タイのダイビング観光における環境に配慮した事業運営の阻害要因に係わる現地調査」（タイ、

プーケット、二〇一〇年十二月二日～二〇一一年一月六日）

今 林 直 樹 教授

論文「沖繩の記憶を語り継ぐ―石川ジェット機墜落事故―」〔沖繩研究ノート〕二〇号、二〇一一年三月）



講演 'Okinawa et la relation internationale en Asie' 二〇一〇年三月二四日、於 パリ第一大学パンテオヌールボンヌ

講演 「沖繩と日本の歴史的関係」、二〇一〇年一月二〇日、於 フランス・国立東洋言語文化学院、一月二十五日、パリ第七大学デイドゥロ。

井上 研一郎 教授

調査報告「各ジャンルの動向―日本画」(『宮城県芸術年鑑』第35巻・平成21年度) 二〇一〇年四月 宮城県環境生活部消費生活・文化課)

調査 北海道根室市ノッカマップ、根室市歴史と自然の歴史館、厚岸町国泰寺ほか 二〇一〇年九月、蠣崎波響筆《夷酋列像》制作の背景にかんする実地調査。

調査 広島県福山市・広島県立歴史博物館ほか 二〇一〇年一月、蠣崎波響筆《巨椋湖月下舟遊図》等にかんする作品調査。

調査 広島県呉市下蒲刈・蘭島文化振興財団ほか 二〇一〇年一月、伝統建築物の保存活用と美術館活動にかんする現地調査。

犬飼 公之 教授

論文「「虚」と「実」の風景(万葉の歌)」(『日本文学ノート』第四十五号、二〇一〇年七月二〇日)

論文「太陽(テダ)の宇宙―オモロの多国籍性と独自性」(『沖繩研究 仙台から発信する沖繩学』、宮城学院女子大学附属キリスト教文化研究所、二〇一〇年一〇月八日)

他

菊池勇夫 教授

単著『十八世紀末のアイヌ蜂起―クナシリ・メナシの戦い―』サッポロ堂書店、二〇一〇年八月。

共編著『覚醒する地域意識（〈江戸〉の人と身分5）』吉川弘文館、二〇一〇年一〇月 ※菊池・若尾政希編、執筆箇所「競い合う歌枕（名所）」・「エピソード」

筆箇所「競い合う歌枕（名所）」・「エピソード」

共著『政治社会思想史（新体系日本史4）』山川出版社、二〇一〇年一〇月 ※宮地正人他3名編、執筆箇所「近世後期の社会思想」

単著『菅江真澄が見たアイヌ文化』（神奈川大学評論ブックレット30）、御茶の水書房、二〇一〇年一二月

論文「北方交流史と『遠野物語』」、石井正己・遠野物語研究所編『遠野物語と21世紀 東北日本の古層へ』所収、

三弥井書店、二〇一〇年四月

論文「奥州人の琉球漂着と送還」宮城学院女子大学付属キリスト教文化研究所編『沖繩研究―仙台から発信する

沖繩学』大風印刷、二〇一〇年一月

論文「近世日本から見た千島列島史」菊池俊彦編『北東アジアの歴史と文化』北海道大学出版会、二〇一一年一月

論文「いにしへ」探究の真澄の旅・学「菅江真澄の「ひがおもひ」―みちのく山をめぐる―」『真澄学』6、

東北芸術工科大学東北文化研究センター、二〇一一年二月

論文「五月鳥と早乙女花―ホトトギスと卵の花―」『真澄学』6（連載菅江真澄から近世史をさぐる6）東北芸

術工科大学東北文化研究センター、二〇一一年二月

論文「松浦武四郎と義経蝦夷渡り伝説」『研究年報』44、宮城学院女子大学付属キリスト教文化研究所、二〇一一年三月

概説「江戸時代の飢饉」総合地球環境学研究所編『地球環境学事典』弘文堂、二〇一〇年一〇月

概説「列島社会における〈中心と周縁〉」大橋幸泰・深谷克己編『身分論をひろげる（〈江戸〉の人と身分6）』

吉川弘文館、二〇一一年一月

講演「飢饉に直面した時」南部町教育委員会、二〇一一年三月二日

科学研究費補助金基盤研究（C）報告書『北日本地域における田村麻呂・義経伝説の近世的展開』（二〇〇八～二〇一〇年度）、二〇一一年三月

九里 順子 教授

論文「引き寄せる口語——犀星『鶴』前夜の詩集群——」（『日本現代詩歌研究』九号、二〇一〇年三月）

論文「〈山〉の肉体／媒体の硝子——室生犀星『鉄集』——」（『日本文学ノート』四五号、二〇一〇年七月）

論文「肉体的還元という起点——戦時下の犀星詩——」（『研究年報』四四号、二〇一一年三月）

解説「近代詩漫歩」第一回～一〇回（『里』八七号～九六号、二〇一〇年六月～二〇一一年三月）

大平 聡 教授

論文「紀元二千六百年と二校の奉安殿」（『宮城学院女子大学附属キリスト教文化研究所研究年報』第四三号、二〇一〇年三月一五日）

論文「古代政治思想」(宮地正人他編『新体系日本史4 政治社会思想史』、山川出版社、二〇一〇年一〇月一日)  
論文「グスク研究覚書—安里進氏の「グスク時代」論を中心に」(『沖繩研究—仙台から発信する沖繩学』、宮城学院女子大学付属キリスト教文化研究所、二〇一〇年一〇月八日)

論文「自校史を素材とした現代史(戦争時代史) 教育の実践」(『宮城歴史科学研究』六七、二〇一〇年一月三〇日)

研究ノート「城柵研究新段階の予感」『宮城考古学』一二、二〇一〇年五月二六日

書評「鎌田元一著『律令国家史の研究』」『法制史研究』五九、二〇一〇年三月三〇日

書評「今野日出晴著『歴史学と歴史教育の構図』を読む」『歴史』一一四、二〇一〇年四月二五日

評論「二・一一信協・思想・報道の自由を守る宮城県民集会参加記」『宮城歴史科学研究』六六、二〇一〇年四月三〇日

講演会等「学校資料から見る戦時下の白石」二〇一〇年八月二四日 白石市市民大学 白石市中央公民館

社会的活動 岩手県金ヶ崎町鳥海柵発掘調査指導委員会副委員長 二〇一〇年七月〜二〇一一年六月

社会的活動 多賀城市文化財保護委員 二〇一〇年二月〜二〇一一年二月

社会的活動 東北歴史博物館協議会委員 二〇一〇年九月一日〜二〇一一年八月三一日

新 免 貢 教授

論文「ソジャーナー・トゥールースとフレデリック・ダグラスのキリスト教批判」(本学『研究論文集一一〇号』

二〇一〇年六月、一一二五頁)

論文「ヴァレンティノス派教師プロレマイオスのフローラ宛書簡の再評価」(本学『キリスト教文化研究所研究年報四三号』二〇一一年三月一日)

著書(共著)新免貢・荒井猷・桑原重夫『キリスト者』が良き名前となる為に、使徒行伝に歴史の中の教会を問う(関西神学塾発行、二〇一〇年八月一〇日)

分担執筆「そして下から順番が変わる——日雇い労働者のたとえをリアルに読む——」『キリスト教講座二〇一〇——キリスト教と現代——』(宮城学院キリスト教センター、二〇一一年三月三一日)

エッセイ「歴史に学び、歴史に生きる人となるために」(『SEQUIMINI ME (セクイミニ・メ) No. 39』二〇一〇年冬季号、四一七頁、桃山学院大学キリスト教センター)

研究会発表「ホメロス研究に触発されて——問い直しを迫られる聖書本文の分析方法——」(財団法人国際高等研究所研究プロジェクト「近代精神と古典解釈——伝統の崩壊と再創造——」、京都府木津川市、二〇一〇年十一月二六日)

講演「招かれざる者が招かれる者に——晩餐のたとえ(『ルカによる福音書』一四章一六―二四節、『マタイによる福音書』二二章二―四節、『トマスによる福音書』語録六四)を通して人間関係回復のプロセスを考える——」(二〇一〇年度全国学生Y M C A夏期ゼミナール、東山荘、静岡県御殿場市、二〇一〇年九月二〇日)

講演「同性愛有害論からの脱却に向けて——具体的事例と古代キリスト教文書を通して——」(第二五回日本基督教団奥羽教区社会問題セミナー、二〇一〇年一月一日～二日)

講演「あなたも痛いから私も痛い」(広島女学院大学秋季宗教強調週間、砂本記念講堂、二〇一〇年一月一九

日)

講演「良き市民となるために」(同、二〇一〇年一〇月二〇日)

海外実地調査 韓国キリスト教の諸動向実地調査(大韓聖公会ソウル主教座聖堂、江華島など、二〇一〇年七月一日～一九日)

海外実地調査 「フローラ宛書簡」他古代キリスト教文書資料調査および収集(イエール大学神学部図書館、アメリカ合衆国コネティカット州ニューヘイヴン、二〇一〇年三月二二～二八日)

国内文献資料調査 古代キリスト教関連資料収集(立教大学池袋キャンパス図書館、二〇一〇年七月三日、一〇月二十九日。東京大学図書館、上智大学神学部図書館、二〇一〇年一月一四～一五日)

国内文献資料調査「生と死」問題に関する資料収集(東洋英和女学院大学、二〇一〇年一〇月三〇日)  
国内文献資料調査 カルト問題情報・資料収集(大明寺、神奈川県横須賀市、二〇一一年三月五～六日)

杉井 信 准教授

論文「沖繩に戻れなかったフィリピン人たち…米軍統治下沖繩における沖比国際結婚家族へのまなざし」大飼公之ほか『沖繩研究 仙台から発信する沖繩学』宮城学院女子大学キリスト教文化研究所、一三三～一五六頁。

二〇一〇年一〇月八日。

研究発表「沖繩に戻れなかったフィリピン人たち」公開研究会(南島の民族と宗教)、宮城学院女子大学キリスト教文化研究所、二〇一〇年一〇月二日。

田 中 一 裕 教授

編著『昆虫の低温耐性—その仕組みと調べ方—』（岡山大学出版会、二〇一〇年七月）

共著「沖繩のクモたちの冬越し」（『沖繩研究 仙台から発信する沖繩学』宮城学院女子大学付属キリスト教文化研究所、二〇一〇年十月）

論文「Interacting effect of thermoperiod and photoperiod on the eclosion rhythm in the onion fly, *Delia antiqua*, supports the two-oscillator model」(Journal of Insect Physiology, 二〇一〇年九月)

研究ノート「宮城教育大学構内のクモ類」（宮城教育大学環境教育研究紀要、二〇一〇年四月）

講演「家の周りを観察しよう—蜘蛛の生態—」（東松島市コミュニティセンター（二〇一〇年九月一日）

学会報告「温度較差反応の普遍性を探る」（日本応用動物昆虫学会、千葉大学（二〇一〇年三月二七日）

学会報告「クモヘリカメムシの変温条件下における耐寒性」（日本応用動物昆虫学会、千葉大学（二〇一〇年三月二七日）

学会報告「マダラヒメグモの幼生休眠と生殖休眠」（日本蜘蛛学会、東京環境工科専門学校（二〇一〇年八月二二日）

土 屋 純 准教授

共著「沖繩県における流通システムの再編成とヤンバル地域への影響?…コープおきなわの共同購入に着目して」

『沖繩研究—仙台から発信する沖繩学』（宮城学院女子大学キリスト教文化研究所、二〇一〇年十月）

書評「書評：沖繩タイムス「長寿」取材班編『沖繩が長寿でなくなる日』を読んで」（沖繩研究ノート、一九号、

二〇一〇年三月)

学会発表「沖縄県における流通再編とヤンバル地域、島嶼部への影響―流通再編と地域への影響(1)」二〇一〇年三月二十八日、法政大学、日本地理学会春期学術会議

八木 祐子 教授

論文「北インド農村の住まいと女性の生活空間」(赤阪俊一・柳谷慶子編『ジェンダー史叢書第8巻 生活と福祉』、明石書店、一七四～一九二頁、二〇一〇年四月)

論文「モルギーさんの冒険」(椎野若菜編、『シングル』で生きる―人類学者のフィールドから)、お茶の水書房、二二六～二四〇頁、二〇一〇年十月)

学会発表「The Revival of Festivals of and Social Transformation in Varanasi」(International Conference, The City in South Asia, 18-20, July, The Center for Contemporary India Area Studies at the National Museum of

Ethnology, in collaboration with the Center for South Asia Studies, University of Edinburgh、二〇一〇年七月二〇日)

講演「北インド農村の暮らしと変化」(慶応大学東アジア研究所講座『南アジアの文化と社会を読み解く』、慶

応大学、二〇一〇年六月二日)

コメントーター「女性・政治参加・エンパワーメント」(FINDAS 研究会 第4回若手研究者セミナー、東京外

国語大学本郷サテライト、二〇一〇年十一月二十日)

海外調査 北インド、ウッタール・プラデーシュ州ヴァラナシ市 二〇一〇年三月十八日～二〇一〇年四月一日



南アジアにおける都市の人類学的研究に関する調査

海外調査 北インド、ウッタール・プラデーシュ州ヴァラナシ市 二〇一〇年八月二十六日～二〇一〇年九月二十

三日 南アジアにおける都市の人類学的研究に関する調査

吉村典子 准教授

論文「ウィリアム・ド・モーガンの幸せなものづくり」『INAX ライブ・ミュージアム NEWS LETTER』  
(INAX ライブ・ミュージアム、二〇一〇年七月)

論文「The Arts & Crafts Movement and Tourism: The 19th century craftsman's studio as an "English" landscape」*Design and Craft: a History of Convergences and Divergences*, Sep. 2010.

論文「ウィリアム・ド・モーガンとアーツ・アンド・クラフツ」『十九世紀陶器装飾の巨匠・ウィリアム・ド・モーガン』(梧桐書院、二〇一〇年九月)

講演会「ド・モーガンのものづくり思想とタイルの魅力」特別展・関連セミナー (INAX ライブ・ミュージアム、二〇一〇年九月)

講演会「ヴィクトリア朝の『芸術』と日本」宮城学院女子大学人文社会研究所・公開講演会 (仙台市青年文化センター、二〇一〇年一〇月)

講演会「十九世紀末イギリス芸術」特別展・関連講演会 (横須賀美術館、二〇一〇年一一月)

学会・研究会報告「The Arts & Crafts Movement and Tourism: The 19th century craftsman's studio as an "English" landscape」The 7th International Conference of Design History and Design Studies (The Royal

Flemish Academy of Belgium, Brussels, Sep. 2010)

割田 聖史 准教授

論文「沖繩の近代はどのように描かれてきたのだろうか―琉球処分史研究を中心に」（大飼公之編『沖繩研究 仙台から発信する沖繩学』宮城学院女子大学附属キリスト教文化研究所、二〇一〇年一〇月）

論文「ブランデンブルク州議会（1823-1845）に関する一考察」（『人文社会科学論叢』二〇号、二〇一一年三月）